



9時から54名の学生にオリエンテーション 全体の様子



宮城島副院長の講演



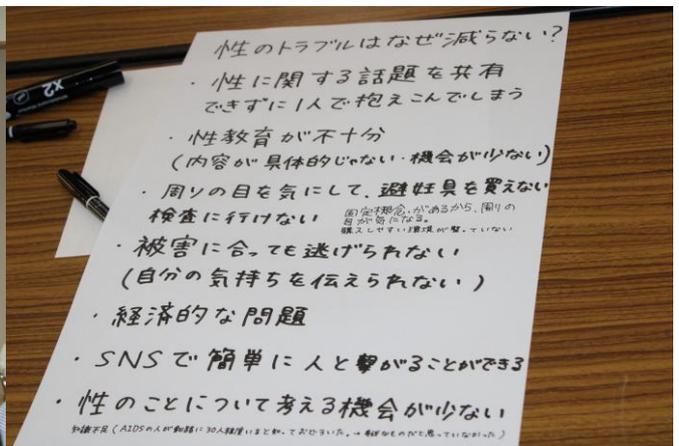
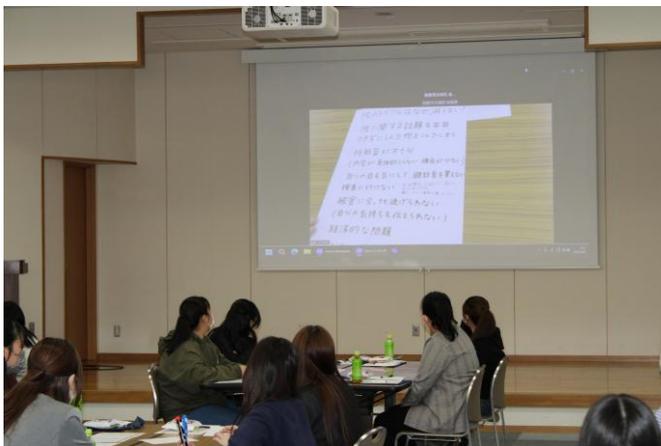
各看護学校の先生方にもご協力いただきました 岩室先生の講演



グループワーク







性のトラブルはなぜ減らないのか？

各グループの発表

H

- ・ 自覚がない
- ・ 知識があるつもりでも、どこかで自分は大丈夫と思っている
- ・ 欲が抑えられない
- ・ 偏見と先入観で検査しづらい

- ・ 自分が感染していると自覚がない
- ・ 犯罪している、させている自覚がない
- ・ 大事にならないと警察が対応できる環境ができていない
- ・ 恥羞心により相談しづらい、相談できる環境がない

・ ストーカーなどの常習犯が捕まったり訴えられずにたこさんいるから。

・ 正しい知識を持ってからず、「自分は大丈夫だ」と他人事として捉えているから。

・ お互いに依存するから、愛情表現がまちがった方向に進んでしまう。 お互いに依存していることに気付いていない!

・ 思いやりを持つことが大切。
依存=愛されたい証拠と増えている。

・ 大事にしたい。相談することで被害が大きくなるかも、自分と相手が好き。

Group G

知識不足

- ・ 恋愛感情が絡んでいるから
- ・ あまり身近に感じていない
- ・ SNSの普及 → 誰とでも繋がることができている
- ・ 親に言えない
- ・ ヒールを手に入れやすい
- ・ 男傾りにさからえない

・ 軽く考えすぎ

知識不足

- ・ 恋愛感情が絡んでいるから
- ・ あまり身近に感じていない
- ・ SNSの普及 → 誰とでも繋がることができている
- ・ 親に言えない
- ・ ヒールを手に入れやすい
- ・ 男傾りにさからえない

・ 軽く考えすぎ

・ リスクを考えずに、軽い気持ちで性行為をしてしまう。

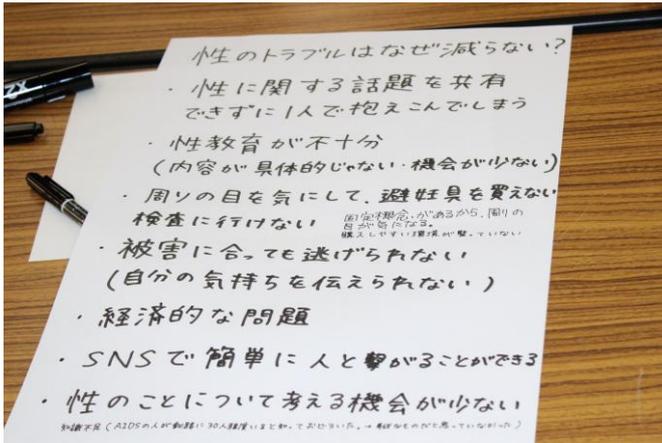
・ 自分は大丈夫だと思っている。

・ 性の多様化によって、トラブルが増えている。

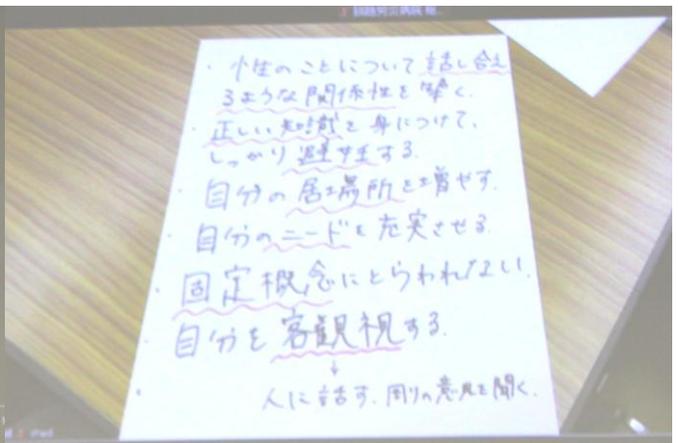
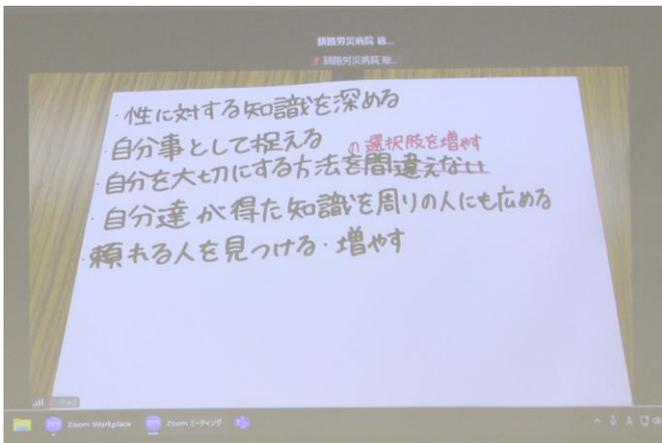
・ 性について話しにくいため、病院へ行かない人がいて、感染が広まってくる。

・ SNSが普及したことにより、出会いの場が増えたり、犯罪グループが形成されるようになった。

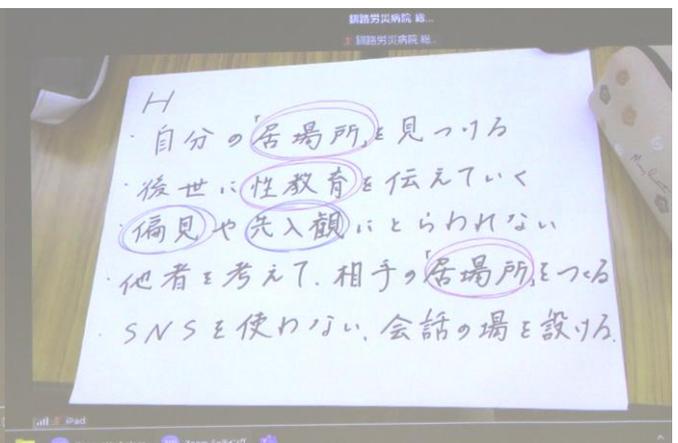
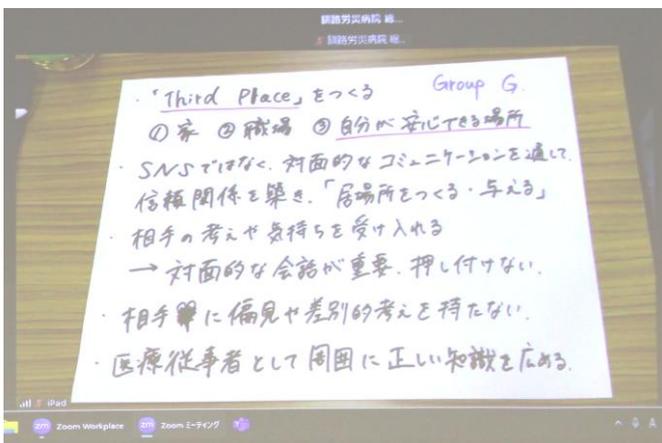
・ 警察に届け出を出しても、証拠がないと対応してくれない。 D

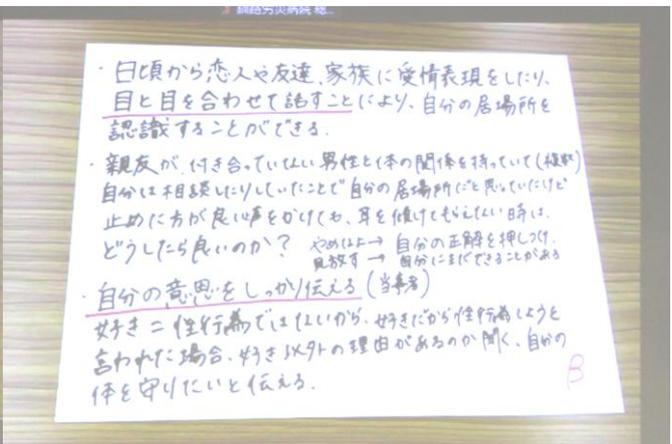
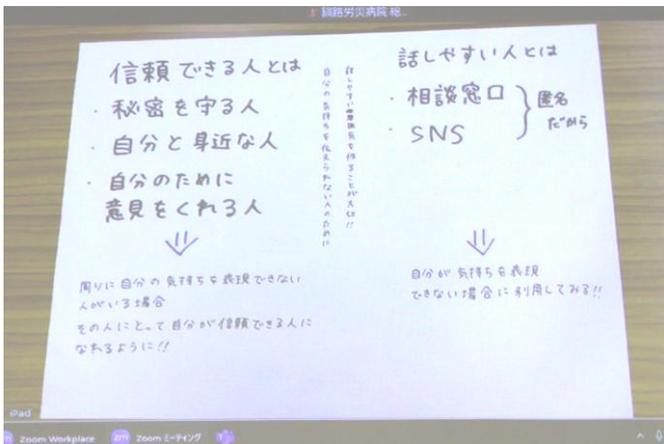
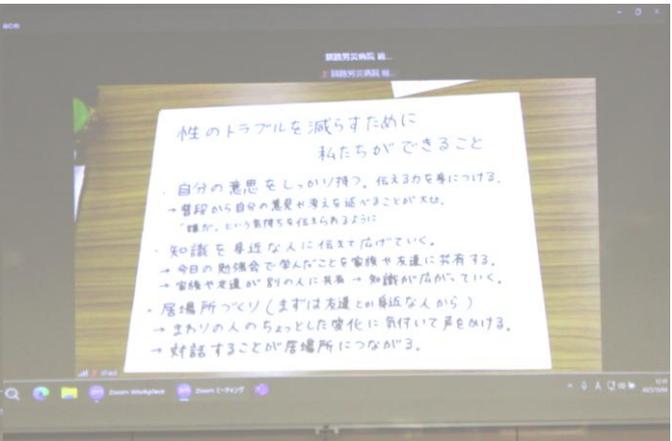
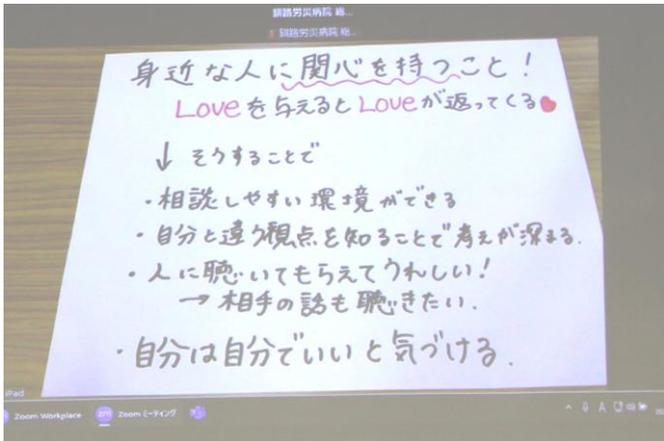
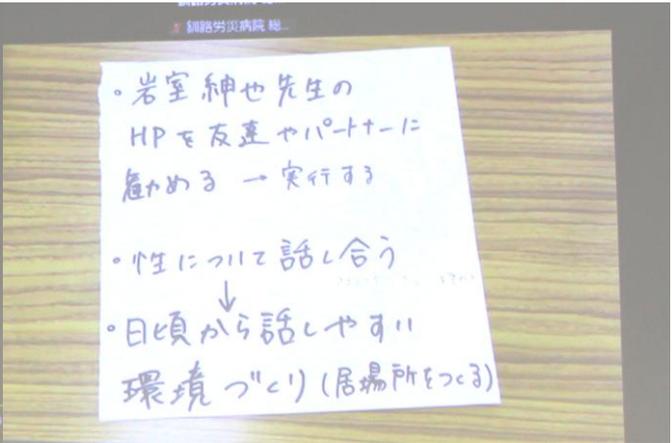
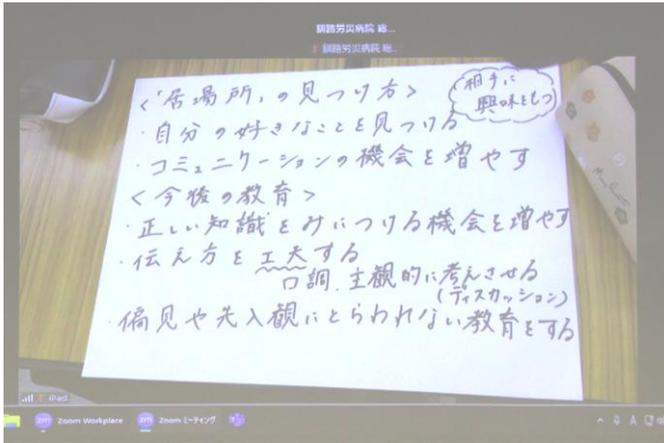


ファシリテーターから質問



性のトラブルを減らすために私たちができることは何か？







篠原院長による閉会の挨拶